

# 第5号 地域連携室だより

## 『センター長のつぶやき』

地域医療センター長 八木下 敏志行

梅雨に入りうっとうしい日が続いています。5月は気温が30度以上の夏日が続き、暑い夏を予想させました。しかし長期予報では今年は冷夏とのこと。寒暖の変化が大きく体調を崩さないようにしたいものです。

今年は昨年以上に地域連携、地域医療、在宅医療などの言葉が多く発信されています。行政や医師会も本腰を入れているようです。君津中央病院地域医療センターは地域の皆様、医療機関、施設、事業所、行政などの方々とこれまで以上に密に連携を図り、地域に貢献したいと考えています。

## 『ご挨拶』

今年度地域連携室長を拝命しました斉藤雄一と申します。

病院勤務は20数年になりますが、地域の医療機関の先生方と関わらせていただくことになるのは初めてになります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



さて、ひとくちに「地域連携」と言いますが、一朝一夕に関係が構築できるとは、難しいと考えています。「では？どうすれば関係が構築できるだろう」と考えますと、単純ですがセンター長の八木下医師と力を合わせて、地道に医療機関の先生方と「顔の見える関係」を構築することが必要になると考えています。

これから、何年にもわたりこの地域の医療機関の先生方と協力をしていかなければなりませんので、良い関係を構築できるよう努力して参ります。

そんな中、先ほど「地道に関係を構築したい」との話をさせていただきましたが、国の施策は待たなしに地域との連携に対してハードルを上げる形で医療法の改正が行われました。その内容については、今以上に紹介患者に対する医療提供（紹介率）と患者をお返しする（逆紹介率）を上げることが必須としています。地域の医療機関の先生方には今以上に紹介患者のご協力をお願いしなければなりません。今後ともいろいろとお話をさせていただく機会があると思っておりますが、よろしくお願いいたします。

## 『第35回上総がんフォーラム』の開催について テーマ：食道がん

日時：9月5日（金）18：30～20：00 場所：君津中央病院 4階講堂

特別講演は東邦大学大学院外科学講座一般・消化器外科教授 島田 英昭先生による『発がんリスクと発がん予防の最近の話題』を予定しております。地域の医療従事者・介護職・福祉職・事務担当者の皆様、是非多数ご参加下さい。

さる5月29日（木）4階講堂において『化学療法』をテーマに第34回上総がんフォーラムを開催いたしました。地域の医療機関の先生方にはご参加いただきありがとうございました。

## 寄稿

退院支援チームについて 訪問看護科 杉原 幸子

退院支援チームは平成22年から活動を開始しています。平成24年からは緩和ケア病棟を除いた全病棟の看護師がリンクナースとして参加し、月に1回チームメンバーが集まっています。ここでは退院支援に関する情報を共有し、それぞれの病棟での退院支援活動に役立てています。

結成当初は、院内退院支援システムへの理解を深めることなどを主な活動目標としていましたが、現在は退院支援に関する病棟への知識の普及や退院支援に関するルール作りに徐々に主軸を移してきています。

チーム結成から5年目を迎え、退院支援システム導入病棟の増加と共に、最近の退院支援カンファレンスでは、病棟看護師、MSW、退院調整看護師以外にも医師や理学療法士、薬剤師などの多職種が多数参加し活発な意見交換がなされています。

地域のケアマネジャーとの連携体制も、退院時だけではなく入院時から連携が図れるよう、地域のケアマネジャーの協力をいただきながら体制作りに取り組んでいます。